

飛騨牛繁殖研修センターで修了式



修了証書を手にする(左から)岡山直人さん、大島芹那さん、田中敦さん＝美濃加茂市牧野、飛騨牛繁殖研修センター

1期生、就農の道開く

飛騨牛の繁殖農家を育成する飛騨牛繁殖研修センター(美濃加茂市牧野)の1期生3人の修了式が3日、現地で行われた。3人とも前職は会社員などで肉用牛

の生産は未経験だったが、2年間の研修期間を終え、今春から県内で新たな一歩を踏み出す。

センターは、高齢化などで減少傾向にある繁殖農家の担い手を育成し、ブランド牛・飛騨牛の生産基盤の拡大を図ろうと、2019年に岐阜大応用生物科学部付属美濃加茂農場内に開設。岐阜大とJ A全農岐阜

県でつくる連携協議会が運営している。

修了したのは大島芹那さん(27)＝愛知県出身＝、岡山直人さん(29)＝大阪府出身＝、田中敦さん(61)＝京都府出身＝。会社員だった大島さんは、海津市の祖父が経営する牛舎を継ぎ、岡山さんは岐阜市、田中さんは中津川市で、それぞれ廃業した農家の牛舎を引き継ぐ。

修了式には関係者15人が出席。協議会長の福井博一岐阜大副学長は「新型コロナウイルスの影響を受ける中でも、前向きに取り組んでもらえた。後輩の二本として活躍してほしい」と式辞を述べ、3人に修了証書を手渡した。副会長の西村寿文J A全農岐阜本部長は「ビジネス視点も大切にしながら、生産拡大につなげてもらいたい」と激励した。

大島さんは「畜産で恩返しをしていきたい」、岡山さんは「持続的な経営を目指す」、田中さんは「一歩一歩着実に歩みたい」と就農への決意を述べた。

(佐名妙予)